ダイワ投信倶楽部
外国株式インデックス

<5832>

追加型投信／海外／株式／インデックス型
日経新聞掲載名：倶楽部外株イ

第26期　2025年12月１日決算

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、外国の株式に投資し、投資成果をＭＳＣＩコクサイ指数（配当込み、円ベース）の動きに連動させることをめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第26期末	基準価額	66,117円
	純資産総額	28,718百万円
第26期	騰落率	20.9%
	分配金	0円

大和アセットマネジメント
Daiwa Asset Management
大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
https://www.daiwa-am.co.jp/

運用報告書に関するお問い合わせ先
コールセンター　受付時間　9：00～17：00（営業日のみ）
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書（全体版）」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書（全体版）」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。

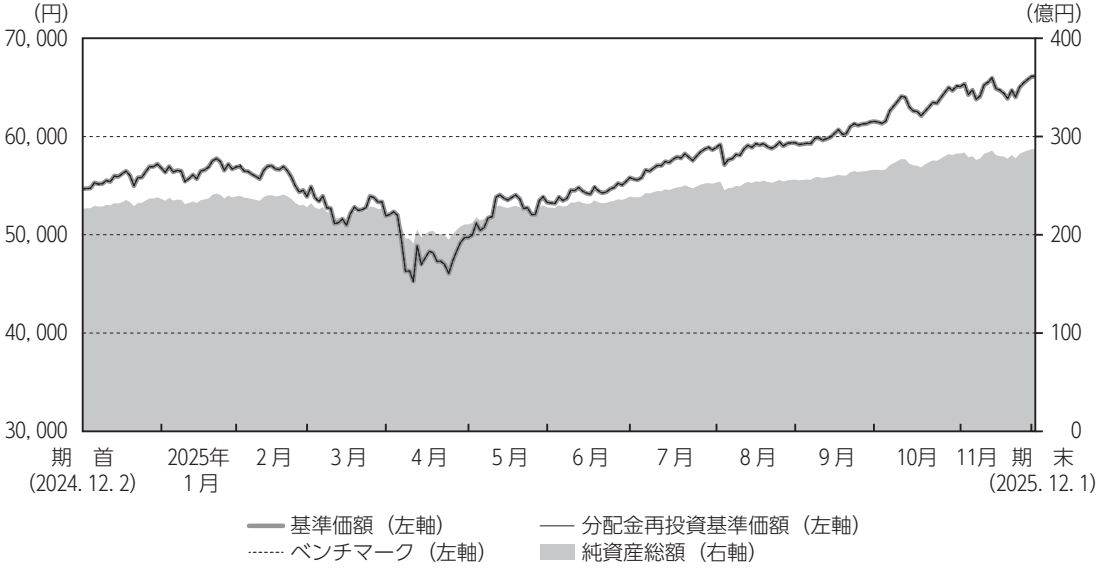
UD FONT　見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

◇TKU0583220251201◇

「運用報告書（全体版）」の閲覧・ダウンロード方法
上記のURLにアクセス　→　ファンド検索欄にファンド名を入力　→　リストから当ファンドを選択　→　運用報告書（全体版）を選択

運用経過

基準価額等の推移について



（注）分配金再投資基準価額およびベンチマークは、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
＊ベンチマークはＭＳＣＩコクサイ指数（税引後配当込み、円ベース）です。

■基準価額・騰落率

期　首：54,684円
期　末：66,117円（分配金０円）
騰落率：20.9%（分配金込み）

■基準価額の主な変動要因

海外株式市況が上昇したことや為替相場が円安になったことにより、基準価額は上昇しました。

くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

1万口当りの費用の明細

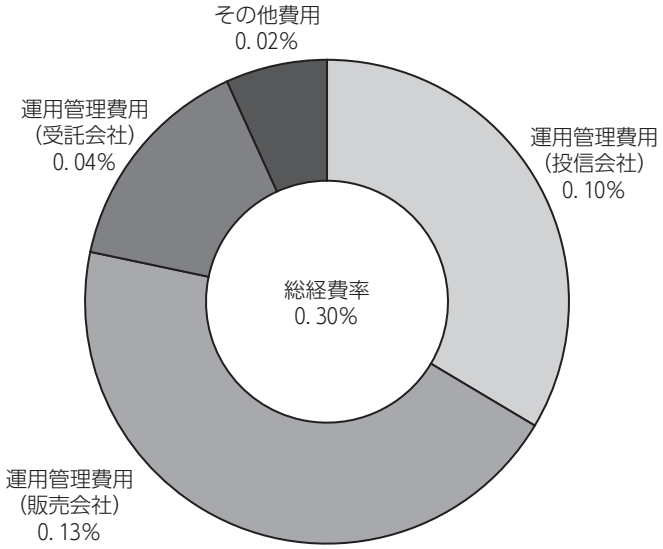
項　　目	当　期 (2024. 12. 3～2025. 12. 1)		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
信　託　報　酬	156円	0. 274%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は56, 783円です。**
(投 信 会 社)	(56)	(0. 099)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(75)	(0. 132)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(25)	(0. 044)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	2	0. 003	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株　　式)	(1)	(0. 002)	
(先物・オプション)	(1)	(0. 001)	
(投 資 証 券)	(0)	(0. 000)	
有価証券取引税	2	0. 004	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株　　式)	(2)	(0. 004)	
(投 資 証 券)	(0)	(0. 000)	
そ の 他 費 用	11	0. 020	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(8)	(0. 014)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(3)	(0. 005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ　の　他)	(0)	(0. 001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合　　計	171	0. 301	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。
(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

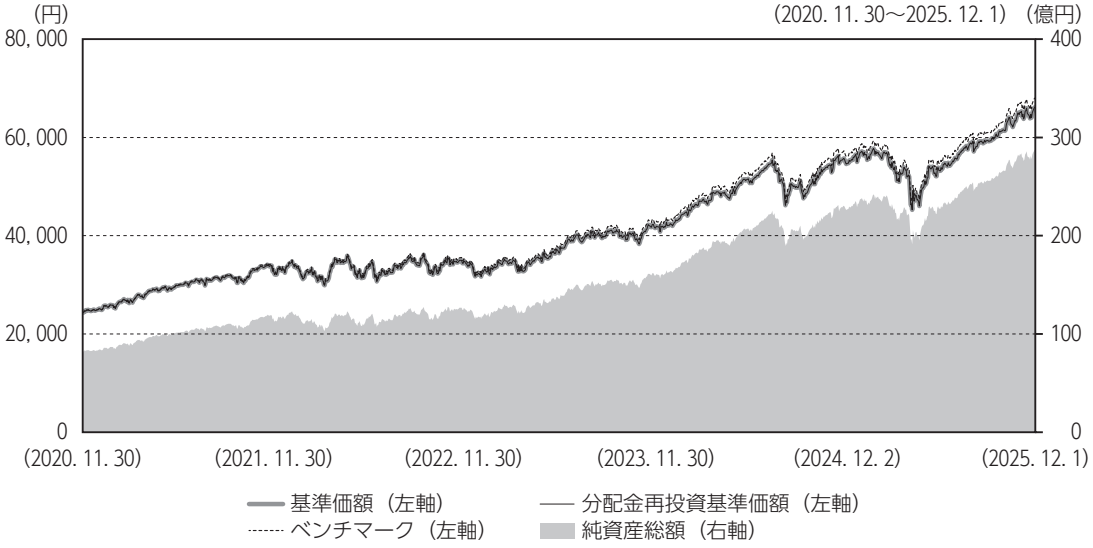
■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.30%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
(注3) 各比率は、年率換算した値です。

最近5年間の基準価額等の推移について



（注）分配金再投資基準価額およびベンチマークは、2020年11月30日の基準価額をもとに指数化したものです。

	2020年11月30日 期初	2021年11月30日 決算日	2022年11月30日 決算日	2023年11月30日 決算日	2024年12月２日 決算日	2025年12月１日 決算日
基準価額 (円)	24, 413	33, 074	34, 373	41, 588	54, 684	66, 117
分配金（税込み） (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	35. 5	3. 9	21. 0	31. 5	20. 9
ＭＳＣＩコクサイ指数（税引後配当込み、円ベース）騰落率 (%)	—	36. 6	4. 8	21. 9	32. 0	21. 0
純資産総額 (百万円)	8, 212	11, 601	12, 444	15, 949	22, 657	28, 718

（注１）比率は小数点第１位未満を四捨五入してあります。
（注２）ＭＳＣＩコクサイ指数（税引後配当込み、円ベース）は、ＭＳＣＩ Inc.（「ＭＳＣＩ」）の承諾を得て、ＭＳＣＩコクサイ指数（税引後配当込み、米ドルベース）をもとに大和アセットマネジメントが円換算したものです。ＭＳＣＩコクサイ指数（税引後配当込み、米ドルベース）は、ＭＳＣＩが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はＭＳＣＩに帰属します。またＭＳＣＩは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、ＭＳＣＩによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、ＭＳＣＩは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html]
（注３）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
（注４）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

投資環境について （2024. 12. 3 ～ 2025. 12. 1）

■海外株式市況

海外株式市況は上昇しました。

海外株式市況は、当作成期首より、ＦＯＭＣ（米国連邦公開市場委員会）でのタカ派姿勢を受けて欧米の金利が上昇し、下落しました。2025年１月には、トランプ大統領の就任初日の関税導入が回避されたことや、巨額のＡＩ（人工知能）関連投資が発表されたことから上昇しましたが、４月に入ると、トランプ米国政権による相互関税が想定よりも厳しい内容となったことを受け、世界経済への影響が懸念されて急落しました。しかしその後、相互関税の上乗せ税率適用の90日間停止が発表されると反発しました。６月に入ると、中東における地政学リスクの高まりとまちまちな経済指標を背景に反落しましたが、７月以降は、米国と各国との通商交渉の進展により米国の関税をめぐる懸念が後退する中でＡＩ関連企業の成長期待が高まったことなどが相場をけん引し、上昇しました。11月に入ると、追加利下げ期待が後退したことに加え、「ＡＩバブル論」が意識され、高値警戒感が強まったＡＩ・半導体関連株の下落が相場の重しとなり、軟調に推移しました。その後、ＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）高官の発言を受けた米国の利下げ期待の高まりを好感して上昇しました。

■為替相場

為替相場は、当作成期を通して見るとおおむね円安となりました。

対円為替相場は、当作成期首より、おおむね円安基調で進みました。2025年１月に入ると、日銀が月内の金融政策決定会合において利上げを行う可能性が高まったことで金利差が縮小し、主要通貨はおおむね円高に転じました。２月以降も、日銀の審議委員が利上げを進める方針を示したことなどから、円高が進行しました。５月以降は、日銀が追加利上げに対して慎重な姿勢を維持したことなどから、おおむね円安に推移しました。７月も、米国の利下げ期待が後退したことや、日本の参議院議員選挙を前に財政拡張懸念が強まったことなどから、円安基調が継続しました。８月以降は強弱まちまちの動きとなりました。10月に入ると、自民党総裁選挙の結果を受けた積極財政や緩和的な金融環境の継続への期待などから投資家のリスク選好度が強まり、当作成期末にかけて円安が進行しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

今後の運用にあたりましても、引き続き、「外国株式インデックスマザーファンド」の受益証券をほぼ100％組み入れることで、ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行ってまいります。

■外国株式インデックスマザーファンド

今後の運用にあたりましても、引き続き、当ファンドの運用方針に基づき、ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行ってまいります。

ポートフォリオについて （2024. 12. 3 ～ 2025. 12. 1）

■当ファンド

「外国株式インデックスマザーファンド」の受益証券をほぼ100％組み入れました。

■外国株式インデックスマザーファンド

外国株式を中心に組み入れ、Ｓ＆Ｐ500先物取引等の株価指数先物も一部利用し、株式組入比率（投資信託証券、株価指数先物を含む。）につきましては、当作成期を通じておおむね100％程度の水準を維持しました。

外国株式等のポートフォリオ構築にはリスクモデルを利用し、ファンドの資産規模や資金動向、売買コストの抑制等を勘案しながら、基準価額とベンチマークとの連動性を維持・向上させるよう運用を行いました。

＊マザーファンドのベンチマークは以下の通りです。

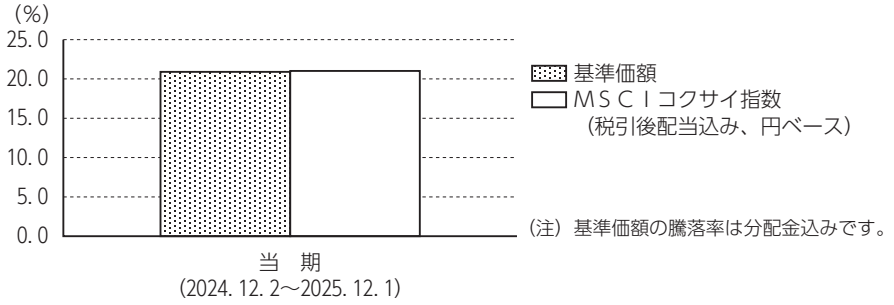
組入ファンド	ベンチマーク
外国株式インデックスマザーファンド	ＭＳＣＩコクサイ指数（税引後配当込み、円ベース）

ベンチマークとの差異について

当作成期のベンチマークの騰落率は21. 0％、当ファンドの基準価額の騰落率は20. 9％となりました。

マザーファンドで組み入れているポートフォリオの騰落率とベンチマークの騰落率との差異、運用管理費用、売買コスト等がかい離要因としてあげられます。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額とベンチマークとの騰落率の対比です。



＊ベンチマークはＭＳＣＩコクサイ指数（税引後配当込み、円ベース）です。

分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が少額であったため、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項目			当期 2024年12月3日 ～2025年12月1日
当期分配金（税込み）		**（円）**	**—**
	対基準価額比率	（%）	—
	当期の収益	（円）	—
	当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額		（円）	56,410

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注4）投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはございません。

今後の運用方針

■当ファンド

今後の運用にあたりましても、引き続き、「外国株式インデックスマザーファンド」の受益証券をほぼ100%組み入れることで、ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行ってまいります。

■外国株式インデックスマザーファンド

今後の運用にあたりましても、引き続き、当ファンドの運用方針に基づき、ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行ってまいります。

お知らせ

■運用報告書にかかる信託約款の条文変更について

2025年４月１日付の投資信託及び投資法人に関する法律の改正により、運用報告書にかかる規定が変更されたため、運用報告書にかかる信託約款の条文を以下のとおり変更しました。（下線部を変更）

＜変更前＞

（運用報告書に記載すべき事項の提供）

①委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第１項に定める運用報告書の交付に代えて、運用報告書に記載すべき事項を電磁的方法により提供します。

②前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から運用報告書の交付の請求があった場合には、これを交付します。

＜変更後＞

（運用状況にかかる情報の提供）

①委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第１項に定める事項にかかる情報を電磁的方法により提供します。

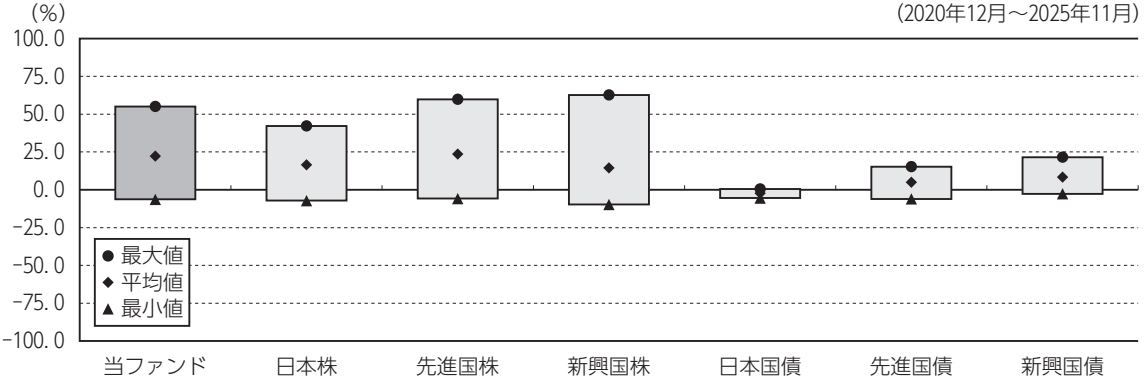
②前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から前項に定める情報の提供について、書面の交付の方法による提供の請求があった場合には、当該方法により行なうものとします。

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式／インデックス型	
信託期間	無期限（設定日：2000年４月28日）	
運用方針	投資成果をＭＳＣＩコクサイ指数（配当込み、円ベース）の動きに連動させることをめざして運用を行なうことを基本とします。	
主要投資対象	ベビーファンド	外国株式インデックスマザーファンドの受益証券および外国の株式（預託証書を含みます。）
	外国株式インデックスマザーファンド	外国の株式（預託証書を含みます。）
マザーファンドの運用方法	①主として外国の株式（預託証書を含みます。）に投資し、投資成果をＭＳＣＩコクサイ指数（配当込み、円ベース）の動きに連動させることをめざして運用を行なうことを基本とします。 ②保有外貨建資産について、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは行ないません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、配当等収益等を中心に分配します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最　大　値	55.1	42.1	59.8	62.7	0.6	15.3	21.5
平　均　値	22.2	16.5	23.6	14.5	△ 2.3	4.9	8.4
最　小　値	△ 6.3	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 5.5	△ 6.1	△ 2.7

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去５年間における年間騰落率（各月末における直近１年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。
※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。
※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。
※ファンドの年間騰落率において、過去５年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。
①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。
※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。
※資産クラスについて
日本株……配当込みＴＯＰＩＸ
先進国株……ＭＳＣＩコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
新興国株……ＭＳＣＩエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
日本国債……ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ国債
先進国債……FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
新興国債……ＪＰモルガン　ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ　グローバル　ダイバーシファイド（円ベース）
※指数について
●配当込みＴＯＰＩＸの指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社ＪＰＸ総研または株式会社ＪＰＸ総研の関連会社（以下「ＪＰＸ」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はＪＰＸが有します。ＪＰＸは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●ＭＳＣＩコクサイ・インデックスおよびＭＳＣＩエマージング・マーケット・インデックスは、ＭＳＣＩ Inc.（「ＭＳＣＩ」）が開発した指数です。本ファンドは、ＭＳＣＩによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、ＭＳＣＩは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html] ●ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。● FTSE 世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLC により運営されている債券インデックスです。同指数は FTSE Fixed Income LLC の知的財産であり、指数に関するすべての権利は FTSE Fixed Income LLC が有しています。●ＪＰモルガン　ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ　グローバル　ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J. P. Morgan はその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J. P. Morgan からの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J. P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.
（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

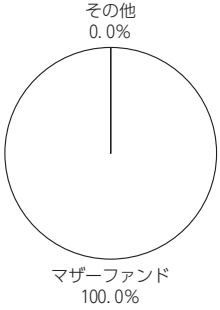
ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

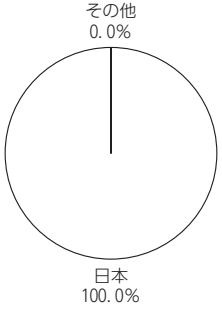
■組入ファンド等

	比　率
外国株式インデックスマザーファンド	100.0%
その他	0.0

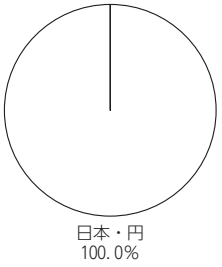
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



（注1）上記データは2025年12月1日現在のものです。
（注2）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注3）国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。
※当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

純資産等

項　　目	当　　期　　末
	2025年12月1日
純資産総額	28,718,987,708円
受益権総口数	4,343,671,400口
1万口当り基準価額	66,117円

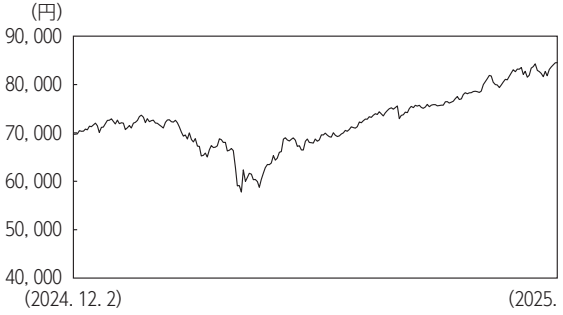
＊当期中における追加設定元本額は741,841,588円、同解約元本額は541,483,164円です。

＊組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

組入上位ファンドの概要

◆外国株式インデックスマザーファンド（作成対象期間　2024年12月３日～2025年12月１日）

■基準価額の推移



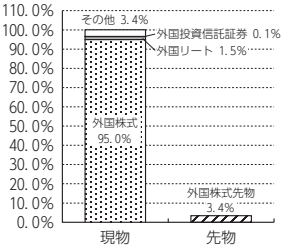
■１万口当りの費用の明細

項　　目	
売買委託手数料	2円
（株式）	(1)
（先物・オプション）	(1)
（投資証券）	(0)
有価証券取引税	3
（株式）	(3)
（投資証券）	(0)
その他費用	11
（保管費用）	(10)
（その他）	(1)
合　　計	15

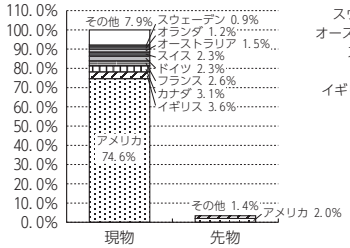
■組入上位銘柄

銘　　柄　　名	通　　貨	比　　率
NVIDIA CORP	アメリカ・ドル	5.4%
APPLE INC	アメリカ・ドル	5.2
MICROSOFT CORP	アメリカ・ドル	4.3
AMAZON.COM INC	アメリカ・ドル	2.8
ALPHABET INC-CL A	アメリカ・ドル	2.3
BROADCOM INC	アメリカ・ドル	2.3
S&P500 EMINI DEC 25 買	アメリカ・ドル	2.0
ALPHABET INC-CL C	アメリカ・ドル	2.0
META PLATFORMS INC CLASS A	アメリカ・ドル	1.8
TESLA INC	アメリカ・ドル	1.5
組入銘柄数	1,145銘柄（先物含む）	

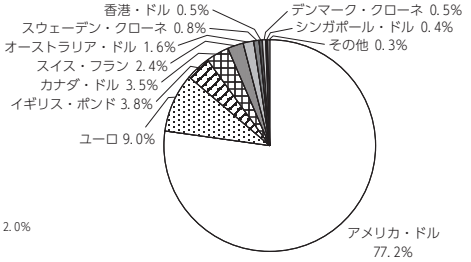
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



（注１）基準価額の推移、１万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のものです。
（注２）１万口当りの費用の明細における費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。
（注３）組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
（注４）国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。
（注５）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
＊組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。